

公益財団法人 国際仏教文化協会 平成 30 年度事業報告



公益財団法人 国際仏教文化協会

当協会は、当協会定款第 3 条「大乘仏教の持つ現代的意義を究明し、欧州等の人々の研究に便宜を与え、東西文化の交流を図り、もって我が国の発展と国際平和に寄与することを目的とする」に基づき、「公益目的事業 1」として、欧州等における大乘仏教の思想・文化・芸術等の振興活動に対する助成および同趣旨のシンポジウム・講演会等の開催及び支援を主事業とする。その趣旨は、欧州等における大乘仏教の思想・文化の振興に対する助成を通じ、これらの地域における大乘仏教の思想・文化への理解を深め、日本古来の精神文化の柱である大乘仏教の振興に資することである。当年度の実業は、平成 30 (2018) 年度事業計画に基づいて具体的な事業を推進した。以下に、その事業推進の報告、及び事業推進にかかる協会運営等の概況、会議開催の概況等を報告する(それぞれの項末尾に決算(支出)額を概数で付記する)。

1. 公益目的事業(振興事業)

上記の通り、欧州等における大乘仏教の思想、文化、芸術の振興に対する助成を通じ、これらの地域における大乘仏教思想・大乘仏教文化の理解を深め、日本古来の精神文化の柱である大乘仏教の振興に資する事業として、研究助成(公募)、及び振興活動支援の事業を推進した。

ア 研究助成事業(大乘仏教の研究活動やその成果の出版等の費用、研究者の日本への留学費用等の助成によって振興を図る)

(イ)欧州等において大乘仏教の研究・学習をしようとするものへの支援

① 欧州等において大乘仏教の研究・学習を進めようとする関係機関への活動支援

選考委員会で審議決定された選考結果に基づき計画通り〔表 1〕のように、欧州等における各関係団体への支援を執行した(英国・Galvan-Alvarez の出版助成を含む)。

② 仏教書印刷発行と普及 : (a) 欧州等における関係機関での欧州語等による仏教書発行支援、および (b) 欧州等に向けての欧文仏教書の編集発行

(a)については、選考委員会で審査・選考し〔表 1〕に記す各関係機関への支援助成および「出版等助成」の通り助成し、それぞれ成果を得た(①を含め、3,300,000 円)。

(b)について、欧文ジャーナル『Shin Buddhist』の第 12 号編集に取り掛かり、次期：令和元(2019)年度内には発刊できるよう作業進行中。また、関係機関への挨拶と協会事業の啓蒙のために Season's Greetings と 2019 IABC Calendar を作成し、発送した(編集作業 770,000 円、図書刊行費 530,000 円余)。

③ 機関誌発行

当協会の事業活動を支援する協力者や、協会活動に関心を持つ一般の者に向けて報告・啓蒙するために機関誌『IABC NEWS』を発行しているが、諸般の事情で年度内の発刊が困難となり、次期(中葉)発刊を予定して編集作業を継続する。

(ロ)日本において日本の仏教文化・仏教芸術の習得を目指すものへの支援

該当者なし。

(ハ)本邦の者で大乘仏教思想を広い視野から学ぶために欧州等において比較文化論・比較宗教論等の方面から研究・学習しようとするものへの支援

該当者なし。

〔表 1〕 欧州等の仏教関係機関への活動支援助成明細 (含 出版助成・奨学助成)

助成対象(関係機関)	同 代表等	助成費額(円)	摘 要
ドイツ・シンサンガ	F. Kobs, M. Nottelmann, I. Evers	600,000	活動地は Anjin-Do など
ベルギー・シンサンガ	Sven Vanderbiest, Heidi Vervimp,	600,000	活動地は Jikoji, Antwerpen
ルーマニア・他力道場	A.Cirlea	600,000	活動地は Amida-ji, Craiova
英国・聴聞堂	G. Robinson	600,000	活動地は Chomon-House, Southampton
USA・Myoko-in	Diane Dunn	250,000	活動地は Oregon, USA
オーストラリア・Muryoko	John Paraskevopoulos	50,000	ウェブ上の事業
NCC 宗教研究所	宮庄哲夫, 京都	300,000	
関係機関への助成 合計		3,000,000	
出版・製作等助成			
“A Practice that is not our Practice...”	Enrique Galvan-Alvarez, UK	300,000	1 年目
関係機関助成及び出版・製作への助成 合計		3,300,000	

イ 振興活動支援事業 (大乘仏教の研究に関するセミナーやシンポジウムの開催に対する助成によって振興を図る)

(イ) 報告と講演の会：諸般の事情で開催が困難となり、次期に開催を予定するものとする。

(ロ) ヨーロッパ真宗会議開催の支援：欧州人等が行うセミナー・会議として、隔年開催のヨーロッパ真宗会議 (大乘仏教の一つの極たる他力回向を説く真宗思想と大乘仏教の諸思想との対論等によって大乘仏教思想の理解を深め合い一般に啓蒙する会議：ESC と略称) を、2018 年 8 月 20～24 日に、英国・サウサンプトンで開催、その担当議長ギャリー・ロビンソン (Gary Robinson：聴聞堂の代表) のもとで準備及び会議開催・進行が進められ欧州・日本・米国・カナダなどから合計 60 余名の参加があり、仏教を通じての交流、仏教の啓蒙に大きな成果を得た。その会議費の支援 (IABC 主催夕食会を含む) 及び発表者たちへの旅費支援、さらに日本からの発表者等への出張支援を執行した (会場使用・荘厳などの支援 1,200,000 円余、旅費助成 850,000 円、出張支援 750,000 円余)。

(ハ) 講師派遣：日本から大乘仏教の学識経験者を講師として欧州等に派遣する事業として、ドイツ・デュッセルドルフの恵光ハウス日本文化センターで毎年開催の仏教セミナーに講師派遣する。その派遣費を支援した。当期は、相愛大学名誉教授・新井俊一を派遣して大きな成果を得た (500,000 円)。

2. 協会運営：協会の庶務の概況

当協会の上記公益事業を推進するための協会体制及びその運営を、前期と同様に、次のような役員会、委員会等を組織して推進した。

ア 役員会等：理事会、評議員会、監事

役員等は、定款第14条「評議員 3名以上6名以内を置く」および第29条「この法人に次の役員を置く。(1) 理事3名以上6名以内 (2) 監事1名」に基づいて、また、任期満了に伴う役員選任によって、それぞれ次の通り選任・就任して、役員会等の業務にあたった。

	氏名	初就任年月日	担当職務	報酬	備考
評議員	金児 慧	H25.04.01.	評議員会議長	無	本願寺派寺院住職
	江里 康慧	H25.04.01.	評議員	無	仏師
	寺井 良宜	H25.04.01.	評議員	無	天台真盛宗寺院住職
理事	佐々木恵精	H25.04.01.	代表理事(理事長)	無	元京都女子大学教授
	柏原 信行	H25.04.01.	理事	無	真宗大谷派寺院住職
	高田 信良	H27.06.06.	理事	無	龍谷大学名誉教授
	宇佐美 直八	H29.06.23	理事	無	(株) 宇佐美松鶴堂取締役
監事	吉田 敏宏	H28.12.06.	監事	無	公認会計士

(注記) 報酬について、無報酬を原則とするが、事務的業務が過重となった場合は、その報酬を供する

イ 職員に関する事項

理事会等の業務にあたり、協会事務処理業務を下記体制で執行した。

職名	氏名	初就任年月日	担当業務	報酬	備考
事務局長	寺本 知正	H25.04.01.	事務・会計総括	無	(注記)
事務局次長	柏原 信行	H25.04.01.	事務局業務	無	(注記)
経理担当	佐々木朝美	H25.04.01.	経理業務	有	
	柏原 信行	H28.12.06.	経理業務	無	経理業務の確認作業

(注記) 報酬について、無報酬を原則とするが、事務的業務が過重となった場合は、その報酬を供する

ウ 委員会

理事会のもとに選考委員会、編集委員会、実行委員会を設置して、業務推進にあたった。

3. 会議に関する事項

ア 理事会

開催年月日時・会場	議案	審議結果
第1回理事会 平成30年6月5日(火) 18:00~19:00 協会事務所にて	1. 平成29年度事業報告及び決算の件 2. 平成29年度決算ならびにその計算書類の承認の件	1. 前期の事業報告について、平成29年度事業報告書を議場に提示し慎重審議の結果、満場一致、原案通り承認可決。 2. 平成29年度決算ならびにその計算書類について、理事長よりその資料を議場に提示し慎重審議の結果、満場一致、原案通り承認可決。

	<p>3. 理事長職務執行報告の件</p> <p>4. 評議員会招集の件</p>	<p>3. 平成 30 年 3 月 21 日から 5 月 31 日までの理事長職務執行状況の報告を議場に提出、議場はこれを了承した。</p> <p>4. 評議員会で前期事業報告及び決算について承認を得るために、議案を提示の上、6 月 22 日(金)開催として評議員会招集案内をすることを議場に諮りたるところ、議場は満場一致、これを承認。</p>
<p>第 2 回理事会</p> <p>平成 31 年 3 月 26 日(火)</p> <p>18:00~19:30</p> <p>京都タワーホテルにて</p>	<p>1. 平成 31 年度事業計画の件</p> <p>2. 平成 31 年度予算案の件</p> <p>3. 理事長の職務執行状況報告の件</p> <p>4. 平成 31 年度「資金調達及び設備投資の見込みについて」の承認の件</p> <p>5. 監事の今期末退任に伴う新監事の件</p>	<p>1. 議長は、平成 31 年度事業計画について、その案を議場に諮りたる処、議場は満場一致、これを承認した。</p> <p>2. 平成 31 年度事業計画に基づく予算案を議場に諮りたる処、議場は慎重審議の結果、満場一致、これを承認した。</p> <p>3. 理事長より平成 30 年 6 月 1 日より平成 31 年 3 月 20 日までの職務執行報告を議場に提示、議場はこれを了承した。</p> <p>4. 標記の議案を提示、平成 31 年度中における借入れ及び重要な設備投資の予定なしとの説明をなし、議場は満場一致してこれを承認した。</p> <p>5. 監事の今期末の退任(申し出)に伴って新監事の選任を次回・定例評議員会に諮る件を議場に諮りたるところ、議長一致してこれを了承した。</p>

イ 評議員会

開催年月日時・会場	議 案	審 議 結 果
<p>第 1 回評議員会</p> <p>平成 30 年 6 月 22 日(金)</p> <p>18:00~19:00</p> <p>京都タワーホテルにて</p>	<p>1. 議長選出の件</p> <p>2. 前期 3 月及び当期 6 月開催の理事会審議の報告の件</p> <p>3. 理事長の職務執行状況の報告の件</p> <p>4. 平成 29 年度事業報告の件</p> <p>5. 平成 29 年度決算承認の件</p>	<p>1. 本会議の議長に金児慧評議員を選出。</p> <p>2. 平成 30 年 3 月 28 日開催、及び 6 月 5 日開催の理事会の審議(平成 30 年度事業計画および予算の件、並びに平成 29 年度事業報告及び決算の件)の結果を議場に報告、議場は満場一致、これを了承した。</p> <p>3. 理事長の職務報告(平成 29 年 6 月 1 日から平成 30 年 3 月 20 日まで、及び同年 3 月 21 日から 5 月 31 日までの職務)を議場に提示、議場は満場一致、これを了承。</p> <p>4. 理事会で承認された平成 29 年度事業報告につき、議場は満場一致、これを了承。</p> <p>5. 同じく平成 29 年度決算並びに決算書類の承認の件につき、資料に基づいて審議、議場は満場一致、これを承認。</p>

ウ 委員会

(1) 選考委員会

平成 30 年 6 月 25 日(金)17:00~19:30、京都タワーホテルにて、開催。予め申請のあった平成 30 年度助成申請について審査し助成額を決定した。助成額は〔表 1〕に示すとおりである。

(2) 編集委員会

前期末より引き続いて欧文ジャーナル『Shin Buddhist』第 12 号の編集作業にあたり、第 1 回編集会議を平成 30 年 6 月 19 日(火)14:00~16:00 にキャンパスプラザ京都 6F 龍大サテライト教室にて、
第 2 回編集会議を同 12 月 19 日(水)14:00~16:00 に同 龍大サテライト教室にて、
第 3 回編集会議を平成 31 年 3 月 27 日(水)14:00~18:00 に同 龍大サテライト教室にて、それぞれ開催、ジャーナルの校正作業に取り組んだ。会議の時間帯のほかにも個々人の間でメールなどによるデータの交換、意見交換を行って進め、『Shin Buddhist』第 12 号の編集作業を進め、次期（令和元（2019）年度）内のその発刊を目指している。

4. 主管官庁の許可・認可及び承認を受けた事項

当該事項なし。

5. 行政官庁指示に関する事項

当該事項なし。

6. 契約に関する事項

当該事項なし。

7. 寄附に関する事項

当期内の当協会支援のためとして受領した寄付金は下記の通り。(単位:円)

寄附の目的	寄 付 者	申 込 金	領 収 額	備 考
基本財産・事業推進のための支援	大阪教区仏教婦人会連盟様 (50,000-) ほか、合計 3 件	90,000-	90,000-	
寄 付 金 合 計		90,000-	90,000-	

8. その他の重要事項

当該事項 なし。

以上、平成 30 年度事業報告（了）